

低頻度大水害ハザードマップ検討会の進め方

目的: 1/1000年程度の低頻度大水害を想定し、ハザードマップの作成、対策の検討を行うことで、河川管理者、地方自治体の危機管理能力の向上を図る。

第1回

- ①過去の大洪水の生起確率について
- ②計画対象流量の決定方法について
- ③モデル河川における浸水想定区域図(案)について: 基本方針規模との比較、課題抽出

第2回

- ①浸水想定区域について
- ②氾濫シナリオについて
- ③ハザードマップ作成指針のポイントについて

第3回

- ①低頻度大水害の氾濫の特徴について
- ②低頻度大水害ハザードマップ作成指針(案)について
- ③中小河川ハザードマップの進め方について

第4回以降(予定)

- ①低頻度大水害ハザードマップ作成指針(案)について
- ②中小河川ハザードマップ作成指針(案)について
- ③避難計画などの対策(案)の検討

検討成果

- ①低頻度大水害ハザードマップ作成マニュアルの作成
- ②中小河川ハザードマップ作成の手引きの作成
- ③低頻度大水害に対する市町村地域防災計画(案)のポイント作成